

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2005-317165(P2005-317165A)

【公開日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報2005-044

【出願番号】特願2004-136916(P2004-136916)

【国際特許分類】

G 11 B 27/34 (2006.01)

G 11 B 27/00 (2006.01)

H 04 N 5/928 (2006.01)

【F I】

G 11 B 27/34 N

G 11 B 27/00 D

H 04 N 5/92 E

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

映像信号と該映像信号に対応する音声信号とを入力して所定の信号処理を施す信号処理装置であつて、

上記映像信号及び上記音声信号を入力する入力手段と、

上記音声信号の盛り上がりの程度の時間推移を示す盛り上がり度グラフを作成するグラフ作成手段と、

上記音声信号を出力する音声出力手段と、

上記盛り上がり度グラフと上記映像信号との表示制御を行う表示制御手段とを備えることを特徴とする信号処理装置。

【請求項2】

上記盛り上がり度グラフを上記映像信号と合成する映像合成手段をさらに備え、

上記表示制御手段は、上記盛り上がり度グラフが合成された合成映像信号を表示装置の表示画面に表示させるよう制御する

ことを特徴とする請求項1記載の信号処理装置。

【請求項3】

上記表示制御手段は、上記盛り上がり度グラフと上記映像信号とを異なる表示領域に表示させるよう制御することを特徴とする請求項1記載の信号処理装置。

【請求項4】

上記表示制御手段は、上記映像信号の再生位置に対応する位置情報を上記盛り上がり度グラフに表示させるよう制御することを特徴とする請求項1記載の信号処理装置。

【請求項5】

上記表示制御手段は、上記映像信号の再生位置近傍の盛り上がり度グラフを表示させるよう制御することを特徴とする請求項1記載の信号処理装置。

【請求項6】

上記映像信号及び上記音声信号は、放送された番組に関する映像信号及び音声信号であ

ることを特徴とする請求項 1 記載の信号処理装置。

【請求項 7】

上記音声信号の盛り上がりの程度を計算する盛り上がり度計算手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 記載の信号処理装置。

【請求項 8】

上記映像信号及び上記音声信号と共に、該音声信号の盛り上がりの程度に関する情報を入力することを特徴とする請求項 1 記載の信号処理装置。

【請求項 9】

映像信号と該映像信号に対応する音声信号とが記録された記録手段と、

上記音声信号の盛り上がりの程度の時間推移を示す盛り上がり度グラフを作成するグラフ作成手段と、

上記盛り上がり度グラフと上記映像信号の内容に関する情報との表示制御を行う表示制御手段と

を備えることを特徴とする信号処理装置。

【請求項 10】

映像信号と該映像信号に対応する音声信号とを入力して所定の信号処理を施す信号処理装置の信号処理方法であって、

上記映像信号及び上記音声信号を入力する入力工程と、

上記音声信号の盛り上がりの程度の時間推移を示す盛り上がり度グラフを作成するグラフ作成工程と、

上記音声信号を出力する音声出力工程と、

上記盛り上がり度グラフと上記映像信号との表示制御を行う表示制御工程と
を有することを特徴とする信号処理方法。

【請求項 11】

上記盛り上がり度グラフを上記映像信号と合成する映像合成工程をさらに有し、

上記表示制御工程では、上記盛り上がり度グラフが合成された合成映像信号を表示装置の表示画面に表示させるよう制御する

ことを特徴とする請求項 10 記載の信号処理方法。

【請求項 12】

上記映像合成工程では、上記盛り上がり度グラフを上記映像信号に対して透過的又は上書的に合成することを特徴とする請求項 11 記載の信号処理方法。

【請求項 13】

上記表示制御工程では、上記盛り上がり度グラフと上記映像信号とを異なる表示領域に表示させるよう制御することを特徴とする請求項 10 記載の信号処理方法。

【請求項 14】

上記表示制御工程では、上記盛り上がり度グラフと縮小処理された上記映像信号とを表示装置の同一の表示画面の異なる表示領域に表示させるよう制御することを特徴とする請求項 13 記載の信号処理方法。

【請求項 15】

上記表示制御工程では、上記盛り上がり度グラフを表示装置の第 1 の表示画面に表示させ、上記映像信号を該表示装置の第 2 の表示画面に表示させるよう制御することを特徴とする請求項 13 記載の信号処理方法。

【請求項 16】

上記信号処理装置は、表示手段を備え、

上記表示制御工程では、上記盛り上がり度グラフを上記表示手段に表示させると共に、上記映像信号を表示装置の表示画面に表示させるよう制御する

ことを特徴とする請求項 13 記載の信号処理方法。

【請求項 17】

上記表示制御工程では、上記映像信号の再生位置に対応する位置情報を上記盛り上がり度グラフに表示させるよう制御することを特徴とする請求項 10 記載の信号処理方法。

【請求項 18】

上記表示制御工程では、上記映像信号の再生位置近傍の盛り上がり度グラフを表示させるよう制御することを特徴とする請求項10記載の信号処理方法。

【請求項 19】

上記映像信号及び上記音声信号は、放送された番組に関する映像信号及び音声信号であることを特徴とする請求項10記載の信号処理方法。

【請求項 20】

上記映像信号に番組本編以外の挿入区間が存在する場合、上記グラフ作成工程では、番組本編区間と挿入区間とを識別可能に上記盛り上がり度グラフを作成することを特徴とする請求項19記載の信号処理方法。

【請求項 21】

上記映像信号が意味的に区切られた複数の区間からなる場合、上記グラフ作成工程では、各区間を識別可能に上記盛り上がり度グラフを作成することを特徴とする請求項19記載の信号処理方法。

【請求項 22】

上記音声信号の盛り上がりの程度を計算する盛り上がり度計算工程をさらに有することを特徴とする請求項10記載の信号処理方法。

【請求項 23】

上記入力工程では、上記映像信号及び上記音声信号と共に、該音声信号の盛り上がりの程度に関する情報を入力することを特徴とする請求項10記載の信号処理方法。

【請求項 24】

記録手段に記録された映像信号と該映像信号に対応する音声信号とのうち、該音声信号の盛り上がりの程度の時間推移を示す盛り上がり度グラフを作成するグラフ作成工程と、

上記盛り上がり度グラフと上記映像信号の内容に関する情報との表示制御を行う表示制御工程と

を有することを特徴とする信号処理方法。

【請求項 25】

上記映像信号の内容に関する情報は、該映像信号のタイトルであることを特徴とする請求項24記載の信号処理方法。

【請求項 26】

上記映像信号の内容に関する情報は、該映像信号のサムネイル画像であることを特徴とする請求項24記載の信号処理方法。

【請求項 27】

上記表示制御工程では、上記映像信号中における上記サムネイル画像の位置に対応する位置情報を上記盛り上がり度グラフに表示させるよう制御することを特徴とする請求項26記載の信号処理方法。